

---

---

# 日本インターンシップ学会 NEWS LETTER

## 2008 年度 NO.1

---

---

### 目次

- ・第9回大会を開催するにあたって
- ・年報編集委員会報告
- ・企画研究委員会報告
- ・理事会報告
- ・支部活動報告
- ・平成20年度高良記念研究助成募集について
- ・役員選出規程 WG 設置について
- ・10周年記念事業 WG 設置について
- ・九州支部設立について
- ・事務局便り
- ・新入会員、退会者リスト
- ・所属・住所等変更リスト

---

---

### 第9回大会を開催するにあたって

昨年の第8回大会（於：北海道大学）に続いて、第9回大会は平成20年9月27日（土）に豊橋創造大学にて開催されます。大会スケジュール、発表申込など詳細につきましては、別紙「日本インターンシップ学会第9回大会のご案内」をご覧ください。

【日時】平成20年9月27日（土）

【会場】豊橋創造大学

【問い合わせ先】

日本インターンシップ学会 第9回大会事務局  
〒440-8511 愛知県豊橋市牛川町松下20-1  
豊橋創造大学 情報ビジネス学部 石田研究室内  
Tel：050-2017-2212（石田研究室・直通）

E-mail：jsi2008@sozo.ac.jp

※できる限りメールでご連絡いただければ幸いです。

（第9回大会委員長 石田 宏之）

### 年報編集委員会報告

#### 1. 『年報』第11号の編集について

現在、『年報』第11号の編集をおこなっております。今回、おかげさまで15編の投稿がありました。投稿いただきました会員のみなさまに、感謝申し上げます。投稿いただきました15編のうち5編を「論文」候補とし、最終の編集作業に入っております。第11号を会員のみなさまのお手元にお届けするにはもう少し時間がかかりますが、どうぞ楽しみにお待ちください。

#### 2. 学会発行雑誌の電子公開および著作権処理について

ニュースレター2007年度 No.2 紙上に、過去の学会発行雑誌等における論文等著作物の著作権の取扱につきましては、会員のみなさまからの異議申し立ては特にごさませんでした。したがって、過去の当該著作物につきましても、現行の「投稿論文規程」に沿った取扱をいたしますので、ご了解ください。

（年報編集委員会委員長 石田 宏之）

### 企画研究委員会報告

#### 2008年度第3回研究会開催報告

2008年度第3回研究会は、「産学連携教育における企業の役割」というテーマで、2008年3月22日（土）、筑波大学東京キャンパスにて開催されました。

最初に、モデレータの亀野淳会員（北海道大学）より「技術開発の分野では産学協同研究が盛んになっているが、人材の育成については緒についたばかりである。今回はインターンシップを事例とし、産業界の役割、大学側の問題点などをあぶりだしながら討論したい」との趣旨説明がありました。

企業側を代表して、坂田甲一氏（凸版印刷株式会社）と高橋保雄会員（橋本産業株式会社）から、自社のインターンシップの概要と課題を、また、大学側からは那須幸雄会員（文教大学）と田中宣秀会員（元名古屋大学）より、大学教育におけるインターンシップの位置づけ、大学側からみた企業のメリット・デメリット、今後の発展の方向性について説明がありました（詳細はJSI学会ホームページ：<http://www.socnii.ac.jp/jsi/>を参照願う）。

今般の討議を通じて、浮かび上がったことは、インターンシップが導入されてからの10年間に、わが国を取巻く環境は大きく変わり、企業の競争が激化したこと、大学等では競争資金の導入、独法化など諸改革を迫られているという現実でした。

企業側から従来2週間のインターンシップを実施していたが、緊張感のない学生が多く、折角の機会が半減される傾向にあり、同じ効果が期待できる課題設定型の2日間のインターンシップに切り替えたという報告があり、短期インターンシップについて議論が白熱しました。大学側からは、学年、時期によっては学生の職業観を醸成する機会となるので、否定ばかりしてはならないとの意見も示されましたが、学会のこれからの検討課題です。また、企業側から、特に中小・中堅企業にとってインターンシップは採用面でメリットがあり、学生のキャリア支援は企業の社会的責任であると認識している。しかし、その一方でインターン生を一生懸命受入れてもマナーがよくない学生、単位がもらえるという理由だけで参加する学生が多く、指導強化が必要との報告がありました。

大学側からは、リメディアル教育、学生の個人指導を要望され対応しているのが実態であり、学生に学ぶ意味を自覚させるためには早い時期からのキャリア教育が必要で、キャリアセンターを設置して指導を強化、幅広く

受入先の開拓にも努めている。さらに、教員のFDや授業改革法についても研究しているので、企業側にこれまで以上のご理解を願いたいとの説明がありました。

最後に、亀野モデレータから、企業側、大学側からの貴重なご報告・助言に対して、謝辞が表明され、文系学生を中心とした産学連携教育の強化の必要性、長期インターンシップの導入機会を増やしながら産学の溝を克服していくことの重要性を確認し、盛会のうちに終了しました。

#### 2008年度研究会開催予定

2008年度も、昨年度同様、研究会を3回実施する予定です。いずれも詳細につきましては、決定次第、本学会ウェブサイトにて公開いたします。振るってのご参加をお願いいたします。

##### 【第1回研究会：九州支部研究会をかねて】

日時：2008年6月27日（金）16：00～

会場：九州大学箱崎キャンパス 文・教育・人環研究棟  
2階 会議室

テーマ：3-Winのインターンシップ構築を目指して

\*プログラム詳細は「九州支部設立のお知らせ」（3頁）をご覧ください。

##### 【第2回研究会】

日時：2008年12月13日（土）

会場：未定

##### 【第3回研究会】

日時：2009年3月14日（土）

会場：未定

（企画研究委員会委員長 田中 宣秀）

## 理事会報告

### 2007年度第4回理事会

2007年度第4回理事会が、2007年12月15日（土）に、関西学院大学梅田キャンパスにて開催されました。

#### （1）休会会員の取扱について

退会を希望する一部の会員に対して「休会」措置が取られていたが、「休会」制度解消について審議が行われ、学会活動継続の意思確認について文書を送付することになった。

#### （2）高良記念研究助成審査について

江口彰会員、長尾博暢会員の2名が研究助成採択に決定した。（詳細は前号 News Letter No.3（臨時号）に掲載）

#### （3）九州支部設立準備状況について

第1回準備会合が11月12日に実施された。平成20年5・6月頃に設立準備会を開催予定。

#### （4）カシオ財団研究助成の採択について

カシオ財団の研究助成に採択された。学会員有志からの協力を求め、研究を実施することで学会活動に寄与したい。

#### （5）日本学術会議申請について

日本学術会議の研究協力団体として申請手続きを行った。

### 2007年度第5回理事会

2007年度第5回理事会が、2008年3月22日（土）に、筑波大学東京キャンパスにて開催され、以下の議題が審議されました。詳細は次号 News Letter に掲載いたします。

#### （1）「休会」・長期滞納者の取扱について

#### （2）平成20年度年間活動計画について

#### （3）第9回大会準備状況について

#### （4）研究年報投稿論文規定について

#### （5）平成20年度高良記念研究助成について

#### （6）役員選出規程ワーキンググループ設置について

#### （7）10周年記念事業ワーキンググループ設置について

（事務局）

## 支部活動報告（関西支部）

関西支部はこのほど2008年度の活動方針をまとめましたので、以下、ご紹介します。

○【第5回研究会／2008年12月中旬（会場、未定）】  
タイトル「女子大学におけるインターンシップ、キャリア教育（仮題）」

⇒2006年度設立以来、学校種に基づくインターンシップ、キャリア教育の取組み紹介を行ってきた関西支部の秋季研究会の本年度のテーマは、女子学生における産学連携教育（インターンシップ、キャリア教育）です。女性人材の育成は国家的課題であるとともに、女子大学の枠にとらわれない広く高等教育機関に関わる教学課題でもあります。このため関西支部としては、ユニークな取組み事例を全国から集め、紹介する計画です。

○【第6回研究会／2009年春（会場、未定）】

タイトル「インターンシップの報酬化に向けて（仮題）」

⇒長期化とともにインターンシップをめぐる懸案となっているのが報酬化です。ご承知のとおり、早くからインターンシップの普及を見た欧米では今日、長期化とともに報酬化は一般的な姿となっています。関西支部としては、全国からこのようなインターンシップの事例を集め、紹介する計画です。（関西支部長 加藤 敏明）

## 平成20年度高良記念研究助成募集について

本学会では、インターンシップに係る研究・実践活動の発展・普及、特に若手研究者の育成や会員相互の研究交流の促進を図るため、昨年度より「高良記念研究助成」制度を設け、優れた研究課題への研究助成をスタートさせました。この制度は、高良和武名誉会長から学会へ寄付頂いた基金をもとに、また先生の学会設立からの多大な貢献を記念し、本学会の研究助成事業として実施しております。

平成20年度の研究助成の募集要項や申請書書式等書類につきましては、本ニューズレターに同封されております。是非ご一読いただき、積極的にご応募いただきますよう、お願い申し上げます。

締切は平成20年6月20日(金:必着)です。採否は新年度の審査委員会による検討を踏まえ、8月末開催予定の理事会で決定されます。なお、募集要項や申請書書式等書類につきましては、本学会ウェブサイトからも入手できますのでどうぞ活用ください。(事務局)

## 役員選出規程ワーキンググループの設置

ニューズレター2007年度第2号にてお知らせいたしましたように、2007年度総会におきまして、役員の選出方法について検討することが了承されております。これを受けて、先般開催されました2007年度第5回理事会(2008年3月22日)におきまして、新たに役員選出規程ワーキンググループが設置され、検討を開始することとなりました。なお、ワーキンググループ委員は以下の通りです(あいうえお順、敬称略)。

石田 宏之、古閑 博美、舘 昭、田村 紀雄、吉本 圭一  
(事務局)

## 10周年記念事業ワーキンググループの設置

日本インターンシップ学会は、2008年に設立10年を迎えます。そこで、先般開催されました2007年度第5回理事会(2008年3月22日)におきまして、新たに10周年記念事業ワーキンググループが設置され、学会設立10周年の記念事業について検討を開始することとなりました。なお、ワーキンググループ委員は以下の通りです(あいうえお順、敬称略)。

天谷 正、加藤 敏明、亀野 淳、田中 宣秀、  
横山 皓一 (事務局)

## 九州支部設立のお知らせ

この度、本学会では、関西支部に続いて2つめの地域支部として九州支部を設立し、下記のような次第で、来る6月27日(金)に設立総会ならびに第1回研究会(本部平成20年度第1回研究会を兼ねる)を開催することとなりました。本学会は、「専攻や将来のキャリアに関連する就業体験」としてのインターンシップを充実させるための学術的かつ実践的な研究を目的としています。その発展のために、全体での年1回の年次大会だけでなく、各地の学会員が身近で日常的な研究活動を展開する場として各地域に支部を展開したいというのは、高良名誉会長がかねて提起されていた念願の課題のひとつでした。

学会は来年創立10周年を迎えます。田村現会長のリーダーシップのもとで、特に現場での研究会・研修会を通

じて関係者のインターンシップ教育に関わる資質向上の仕組みを整備したいと検討しておりますが、地域支部がそうした活動拠点となることを楽しみにしております。

福岡近辺の数名の有志で九州支部設立の準備をしましたが、本支部が九州各地のインターンシップを充実させたいと願う学校・大学・企業・行政の各関係者を、タテ・ヨコに柔軟に結びつける場となるよう、会員の皆さんと一緒に語りあつて研究会・研修会等を開催していきたいと存じます。どうぞよろしくお願いたします。

### ○ 【支部設立記念行事】

<日時>2008年5月9日6月27日(金)16:00~  
(受付開始15:30)

<会場>九州大学箱崎キャンパス 文・教育・人環研究棟  
2階 会議室

問合せ先:真鍋 和博会員(manabe@kitakyu-u.ac.jp)

<プログラム>

- ・第1部  
16:00-16:30 設立総会
- ・第2部  
17:00-17:10 会長挨拶  
『学会九州支部設立に寄せる期待』(田村紀雄会長)
- 17:10-18:00 事例研究  
『事例に学ぶ3-win インターンシッププログラム』  
報告;真鍋 和博(北九州市立大学)  
「プロジェクト型インターンシップの展開」  
渡邊 和明(専修学校福岡カレッジオブビジネス)  
「専門学校ワーキングスタディ」  
米原 光昭(福岡県公立古賀高等学校)  
「普通高校のキャリア教育」  
企業関係者からの提案(交渉中)
- 18:00-18:30 パネルディスカッション  
『3-winのインターンシップ構築をめざして』  
パネリスト;事例報告者4名およびコーディネーター・吉本 圭一(九州大学)
- 18:40-19:40 交流会『ここからはじまる Weak Ties』  
(九州支部設立準備委員長 吉本 圭一)

## 事務局便り

### 事務局員の交代について

2008年度より、事務局員の一部が交代し、以下の体制となります。引き続きどうぞ宜しくお願いいたします。

- 事務局長 吉本 圭一
- 事務局員 稲永 由紀、江藤 智佐子、真鍋 和博

\*真鍋 和博会員は福岡 哲朗会員より交代

### 「会員情報調査票」提出のお願い

新年度になり、新天地で活動を開始された会員も多いことと存じます。今年度も同封の「会員情報調査票」の確認をお願いいたします。所属・住所等が変わりましたら、速やかに事務局宛お届け下さい。連絡先が不明になりますと、年報やニュースレター、大会案内など、会員サービスが受けられなくなりますので、ご注意下さい。

### 会費納入のお願い

新年度になりましたので、年会費の納入をお願いいたします。詳細につきましては、本ニュースレターに同封しております「会費納入のお願い」などをご参照下さい。

#### 会費納入先

【郵便振替】口座番号 01760-9-118957  
加入者名 日本インターンシップ学会  
【銀行振込】福岡銀行箱崎支店 普通 2175253  
(電信振込の場合は「ニホンインターンシップガッカイ」と入力下さい。)

### 長期滞納者等の取り扱いについて

平成19年3月22日の理事会において、「休会」、長期滞納会員が平成19年度末退会として承認されました。

会則(第8条2) 3年以上の会費未納の場合は自然退会となる。

#### 日本インターンシップ学会 News Letter 2008.No.1

平成20年5月7日発行

発行 日本インターンシップ学会 会長 田村 紀雄  
編集 日本インターンシップ学会事務局 事務局長 吉本 圭一  
〒812-8581 福岡市東区箱崎6-19-1 九州大学教育学部 教育社会学研究室内  
電話 092-642-3125 FAX 092-642-4355 E-mail jsi-edu@mbox.nc.kyushu-u.ac.jp  
Website <http://wwwsoc.nii.ac.jp/jsi/>